

学校評価計画 筑後市立松原小学校

(1) 全体計画

学校教育目標

松原を愛し、心豊かに生きる子どもを育成する

○基礎学力の向上
○好ましい人間関係の育成

○教育課程の編成・実施・評価
○校務分掌組織の活性化

《本年度の重点目標》

「きく力」を身に付けた子供の育成

学校評価ガイドライン

筑後市教育施策要綱

大項目	中項目	小項目	具体的方策(取組指標)	作成資料(データ化)	作成
A 学びづくり (学ぶ力の育成)	1 授業づくり	① 学びを振り返って、自分たちの伸びや成長を見つめられる子ども 90%に ② 目的意識や相手意識をもって「きく」ことができる子ども 90%に	○ 振り返りの活動を授業に位置付け、個や集団の学びを支援する。 ○ 目的意識や相手意識をもたせ、「きく活動」(きく→考える→応える→きくの3ステップ)を設定する。	・教師アンケート ・児童アンケート	学びづくり部
	2 学力基盤づくり	① くすのきタイムにおいて、学力の定着を図る子ども 90%に ② 単元テストで各領域平均正答率を 85%以上に	○ くすのきタイムで、漢字や計算などの基礎基本問題を徹底的に復習する。 ○ プレテストで学習内容の定着を見取り、個別の支援を充実する。	・過案内容の分析 ・各種学力調査の分析 ・市販テスト(国、算、社、理)の結果考察	
	3 学習習慣の定着	① 基本的な学習習慣(学習準備・チャイム席・話し方・聞き方等)の定着を図る子ども 90%に	○ 月目標での取り組み。教師の模範となる行動。 ○ めざす姿と自分の姿とを比較し、振り返る時間(帰りの会等)を設定して指導を行う。	・日常のチェック表 ・教師アンケート ・児童アンケート	
B 関わりづくり (生活する力の育成)	1 基本的な生活習慣の定着	① あいさつを自ら進んでする子ども 90%に ② 靴やスリッパのかかとを揃えて並べる子ども 90%に ③ 3C 清掃において、隅々まで黙々と清掃する子ども 90%に	○ 月目標での取り組み。教師の模範となる行動。 ○ 児童会によるあいさつ運動。 ○ いじめアンケート、いじめ防止対策委員会の月末実施による児童の困り間の把握と対応 100%。 ○ 履き物を揃えることの意味と意義を全校集会で確認し、適宜指導する。 ○ スリッパ、靴並べ強調月間を設定する。(年1回)	・日常のチェック表 ・教師アンケート ・児童アンケート ・生活アンケート	関わりづくり部
	2 自主的・主体的な活動	① 進んで縦割り活動に参加できる子ども 100%に ② 体育的・文化的行事の異学年での活動において主体的・協働的に参加できる子ども 90%に	○ 4 月中に班編成を行い、学期に1回以上縦割りでの活動(遊び・集会など)を行う。 ○ 子どもが主体的に計画・実施・振り返りを行うことができるように指導する。 ○ 体育的行事(運動会)、文化的行事(松原フェスティバル)の異学年での活動において、目標を持たせ、主体的・協働的な活動を仕組み、振り返りをして達成感を味わわせる。	・教師アンケート ・児童アンケート	
	3 環境整備・運営	① 二部会による D-CAP を 100%に。 ② 学年部(低、中、高)、学年組織を活かした授業づくりの取組の効果 90%以上	○ 2 部会(学び・関わり)による重点取組の評価改善の場の設定(月1回) ○ 子どもの主体性を引き出すために、目的意識や相手意識をもたせた「きく活動」(きく→考える→応える→きく)の3ステップの授業改善と共通実践を図る。	・教師アンケート ・提言数と内容分析	
C 環境整備・運営	1 組織運営の工夫	① 基本的な生活習慣定着への保護者の関心を高め、提出率を 90%に。 ② 情報発信目標を 100%に。	○ 学期に1回生活アンケートを実施し、その結果を公表し、家庭の関心を高める。 ○ 学校・学級からの発信物を定期的に行い、連絡周知に努める。	・職員アンケート ・保護者アンケート	教頭 主幹
	2 保護者・地域との連携	① 松原コミュニティ協議会等と連携した取組の効果 100%に ② 小中連携での共通実践の取組の効果 90%以上	○ 児童・教師アンケート実施 ○ 見通しと振り返りの場を設定した授業づくり ○ タブレット P C の積極的な活用 ○ 児童・教師アンケート実施	・実施回数とアンケートの内容分析	
	3 特色ある学び				